

令和3年度(令和2年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 09-016

PDCA	事務事業名	災害対策資機材等更新事業	部課等名	総務部 防災交通課 防災減災担当	担当	川村	
					内線等	287	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章：第4章 安全で快適に住み続けられるまち					
		節：第1節 安全・安心な社会の形成					
		基本施策：1. 防災対策					
		単位施策：(1) 災害時に備えた施設整備・対策の推進					
	根拠法令等	災害対策基本法第49条					
	対象・目的	市民の健康を守り、併せて避難所運営を支援するため、備蓄食糧や公衆衛生用品等を配備・更新し、災害による被害の軽減を図る。					
	目的を達成するための手段・活動内容	必要となる災害用備蓄食糧及び資機材を確保し、適正に管理する。食糧並びに資機材は、各避難所への分散備蓄に努める。					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績		H30年度	R1年度	R2年度	単位
		①飲料水購入目標数に対する達成率		—	—	100	%
		事業費		—	—	7,449	千円
		人件費		—	—	1,852	千円
		総事業費		—	—	9,301	千円
		活動単位当たりのコスト		H30年度	R1年度	R2年度	単位
	①飲料水購入コスト		—	—	1,815	千円	
	成 果	成果指標		H30年度	R1年度	R2年度	単位
		①飲料水備蓄率	実績値	—	—	72.2	%
			目標値	—	—	72.2	
			実績値				
			目標値				
		実績値					
		目標値					
C 課題の整理		観点別評価	必要性	有効性		効率性	
	①市の関与の妥当性		妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ない
	②市民ニーズ		高い	⑤成果向上の余地	ある	※対象・手段の変更	
	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない	
	事業の評価・課題	B					
		令和2年度は従来の飲料水や備蓄食糧の更新に加え、液体ミルクの備蓄・更新を新たに開始した。液体ミルクは賞味期限が18か月と長期保存が難しいため、ミルクを飲む園児が通園している市内保育園へ定期的に配布するなど、計画的なローリングストックを実行している。 また、新型コロナウイルス感染症の影響で必要数が増えた消毒液についても、通常予定していた備蓄品の購入を次年度購入にするなど更新計画を一部変更し、十分な量の確保に努めた。					
A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	改善推進					
		令和3年度については、従来購入していた備蓄用ビスケットから備蓄用パンの購入へと計画変更を予定している。これは、自主防災訓練などで出た地域住民の意見を取り入れ、高齢者や幼児でも食べやすい備蓄品へ見直したため。 また、避難所の公衆衛生対策として、使用1回分の容器に入った液体ハミガキを整備する。 今後も地域の意見を取り入れた資機材整備・更新を進めていく。					
	令和3年度の目標	成果指標		目標値	単位		
		①更新備蓄品のローリングストック率		100	%		